

【品質報告】

<パイオラックスグローバル品質方針>

期待される企業として、お客様満足度と企業価値の更なる向上を目指して、パイオラックスグループ全体で安定したモノづくりに努めます。

基本方針

お客様に最高の満足をいただける品質を提供する

行動指針

設計開発から製造までのモノづくりの主要プロセスの順に、7つの指針を定めています。

- ① お客様のニーズを満足するロバスト設計の実現
- ② 設計品質を実現する高品質の工程づくり
- ③ 5Sの励行とクリーンで安全な職場環境づくり
- ④ 全数良品は作業標準、手順の遵守にあり
- ⑤ 「異常」と「変化点」の品質確認はあたり前
- ⑥ 「品質」に対する鋭い感性を持った作業者づくり
- ⑦ 全員参加の継続的な品質改善

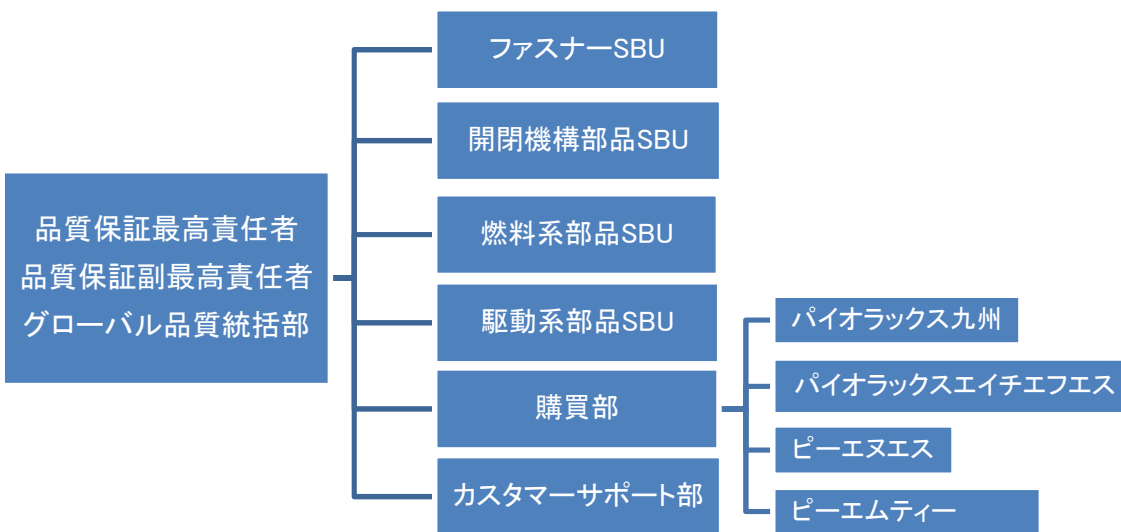
<グローバル品質マネジメント国際認証>

パイオラックスは、2001年のQS9000をはじめ、ISO9001、ISO/TS16949、2017年にIATF16949:2016と、品質国際規格を継続して認証取得してきました。現在、海外子会社全10社で、IATF16949:2016認証を取得しています。国内生産子会社では、パイオラックス九州、パイオラックスエイチエフエス、ピーエヌエスがISO9001:2015認証を取得しています。また、パイオラックス医療デバイスでは、医療機器品質マネジメントシステムISO13485 2016認証を取得しています。今後とも、パイオラックスグループ全体で品質国際規格のレベルアップを計画的に推進していきます。

<品質管理体制>

パイオラックス及び国内子会社は、パイオラックス国内品質保証体系図に示す品質最高責任者、副責任者、グローバル品質統括部の下、商品SBU、購買部、生産子会社ごとに、製品固有の特性について専門的知見で対応する品質管理体制を構築しています。加えて、お客様へ製品をお届けするカスタマーサポート部も含めて、生産から納入まで一貫した品質保証体制を整えています。

パイオラックス国内品質保証体系図



<グローバル品質会議>

グローバル品質統括部では、海外拠点の品質保証業務のレベルアップを目的に年4回のグローバル品質会議を開催しています。2020年度は海外拠点との情報共有を全てオンライン会議で行いました。特に工程監査等の現場確認が必要な業務は、動画やライブ映像配信を活用して、日本からの的確なアドバイスをタイムリーに送ることができるようになりました。

